

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー ブラム=ストーカー	ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	聖職者
オプション		年齢	24	性別	女性
覚醒	死	衝動	妄想	初期侵食率	32 %
出自	天涯孤独	経験	夢	邂逅	欲望：理想の実現

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0			2	行動値	12
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	12
精神	2	0	2			4	戦闘移動	17
社会	0	1	0			1	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
緋色の聖痕	RC	4r+2				C-2 邪毒Lv10 移動がドッジで14ダメージ
主の威光と愛を遍く世界へ	RC	4r+2				上記の全体化

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
デモンズシード	
十字架のアミュレット	

合計装甲：	0	合計回避：	0
-------	---	-------	---

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
D：超血統	P	N		
D：奇妙な隣人	P	N		
S：真田 麻里亜	P 感謝すべき人	Nが弱き神の子		
ヒビキ	P 美しい姉妹愛	N主への信頼が少ない		
真田大吾	P 娘への愛	N罪深き者		
	P	N		
	P	N		

最大財産P：	4	残り財産P：	
--------	---	--------	--

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	2	2	メジャー					
効果：	C値-Lv (下限7)							
抱擁	1	2	メジャー	至近	単体	RC		
効果：	非オーヴァードの死亡を回復							
蝕む赤	10	1	メジャー	視界		RC		
効果：	邪毒付与 (ランク=Lv)							
ブラッドウェブ	7	3	メジャー	視界	単体	RC		
効果：	移動・ドッジでLv*2ダメージ							
血の宴	2	3	メジャー	視界	範囲選択	RC		
効果：	範囲拡大							
再生の血	2	2	メジャー	視界		RC		
効果：	Lv+2D点HP回復							
オリジン：レジェンド	1	2	マイナー	至近	自身			
効果：	シーン中の精神系判定+Lv							
滅びの遺伝子	5	6	オート	視界	単体			
効果：	Lv*10ダメージ							
衝動探知	★	10分				RC		
効果：	オーヴァードの衝動を調べる							
ブラッドリーディング	★					知覚		
効果：	体液から情報を読み取る							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「主の愛を感じます…あなたのために祈りましょう」
 慈善活動のために世界各国の紛争地域を渡り歩いているシスター。
 海外派遣に参加していないときは、自分の生まれ育った孤児院「レクスの園」にて他のシスターたちと共に孤児たちの世話をしている。

20歳で海外紛争地域派遣の際に赴いた土地でオーヴァード同士の抗争に巻き込まれ絶命。
 しかし、同時に感染したレネゲイドウィルスが体内で覚醒、自我を持ち、サラの意識を保たせたまま彼女に寄生する。
 サラ自身はこの感染を「神の奇跡」と信じ、また自我を持ったレネゲイドウィルスのことを「神の使い」と認識している。
 オーヴァードとして覚醒後も相変わらず紛争地域に赴いては慈善活動を行っているのだが、
 その中で通常なら助かる見込みのない瀕死の患者を「抱擁」によって蘇生し、「神の奇跡」による治療を施している。
 また、この神の御業によって患者がオーヴァードとして覚醒することについては特に是も非も感じておらず、
 ただ死に逝く定めの人を救うことに喜びと使命を感じている。
 もっとも、覚醒した者については「福音を聞いたのですね」と祝福をしており、
 その「神の愛」を分け隔てなく与え世に役立てることを説き伏せている。
 彼女によって蘇生した者たちは「サラの子たち」と呼ばれ、世界各地に数えきれないほど存在するとされる。
 そんな彼女の活動にFHが目をつけ、海外派遣などの慈善活動に必要な資金や物資を支援する傍ら、彼女に「断罪」を依頼している。

「それは主の愛の印…あなたの罪は許され、全てが清められ、その御業は御身のもとへと抱きかかえられることでしょう」
 主の教えに背く者、敵対するものを「罪深き者」とし、その罪を誂うと称して己の血を飛ばし「聖痕」を刻みつける。
 その「愛」は徐々に身を蝕み、断罪し、最後にはその御業を神のもとへと送り届ける。
 彼女の「愛」によって主のもとに送り届けられた御業もまた数えきれないという。

結局のところ、彼女は完全なる狂人であり、都合良くオーヴァードを増やすことができるという点をFHに利用されているに過ぎない。